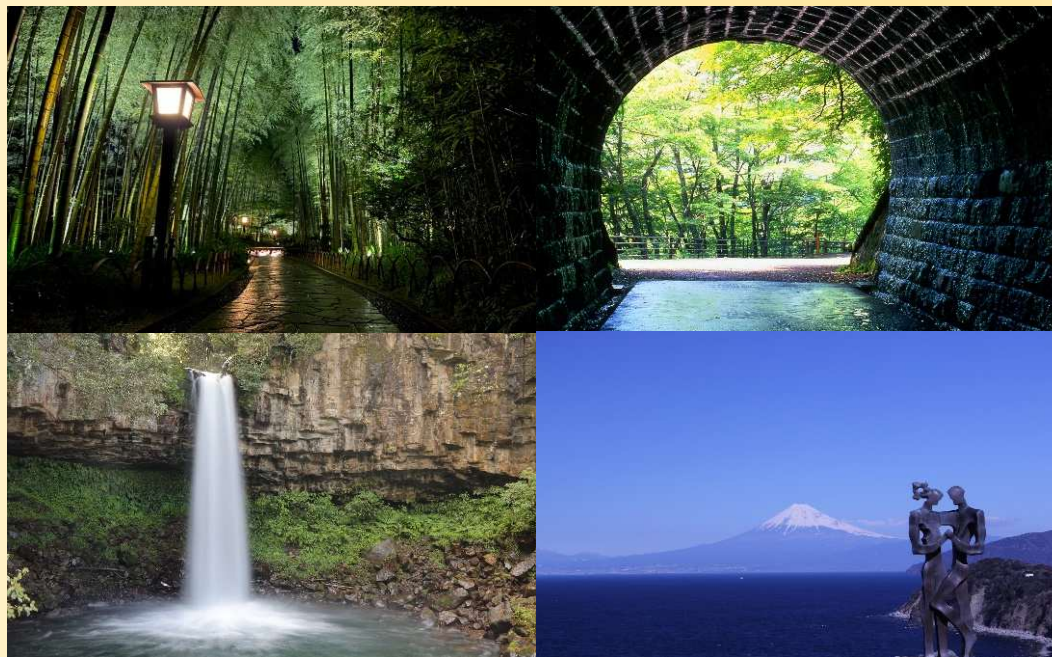


伊豆市の

令和7年度 わかりやすい決算書



総合政策部 企画財政課

目次

1. 決算の基礎知識

- 「決算」って何？・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 2
- 決算はどうやって決まるの？・・・・・・・・・・ 3

2. 令和7年度決算について

- 令和7年度の決算は黒字？赤字？・・・・・・・・ 4
- どのような歳入があったの？・・・・・・・・ 5
- どのように使われたの？・・・・・・・・・・ 6

3. 伊豆市の財政状況について

- 伊豆市の財政は大丈夫なの？・・・・・・・・ 8

4. 主要事業の決算状況

- 主要事業の決算についての説明・・・・・・・・ 10

I. 決算の基礎知識

Q 決算って何？

A 一年間で、市にどれだけのお金が入って、どんなことにいくら使ったかをまとめたものです。

決算は議会への報告が法律で定められており、議会に提出する資料として、決算書を作成します。

決算書では、市に入ってくるお金を歳入、使ったお金のことを歳出といいます。



どうして決算を議会に報告するの？



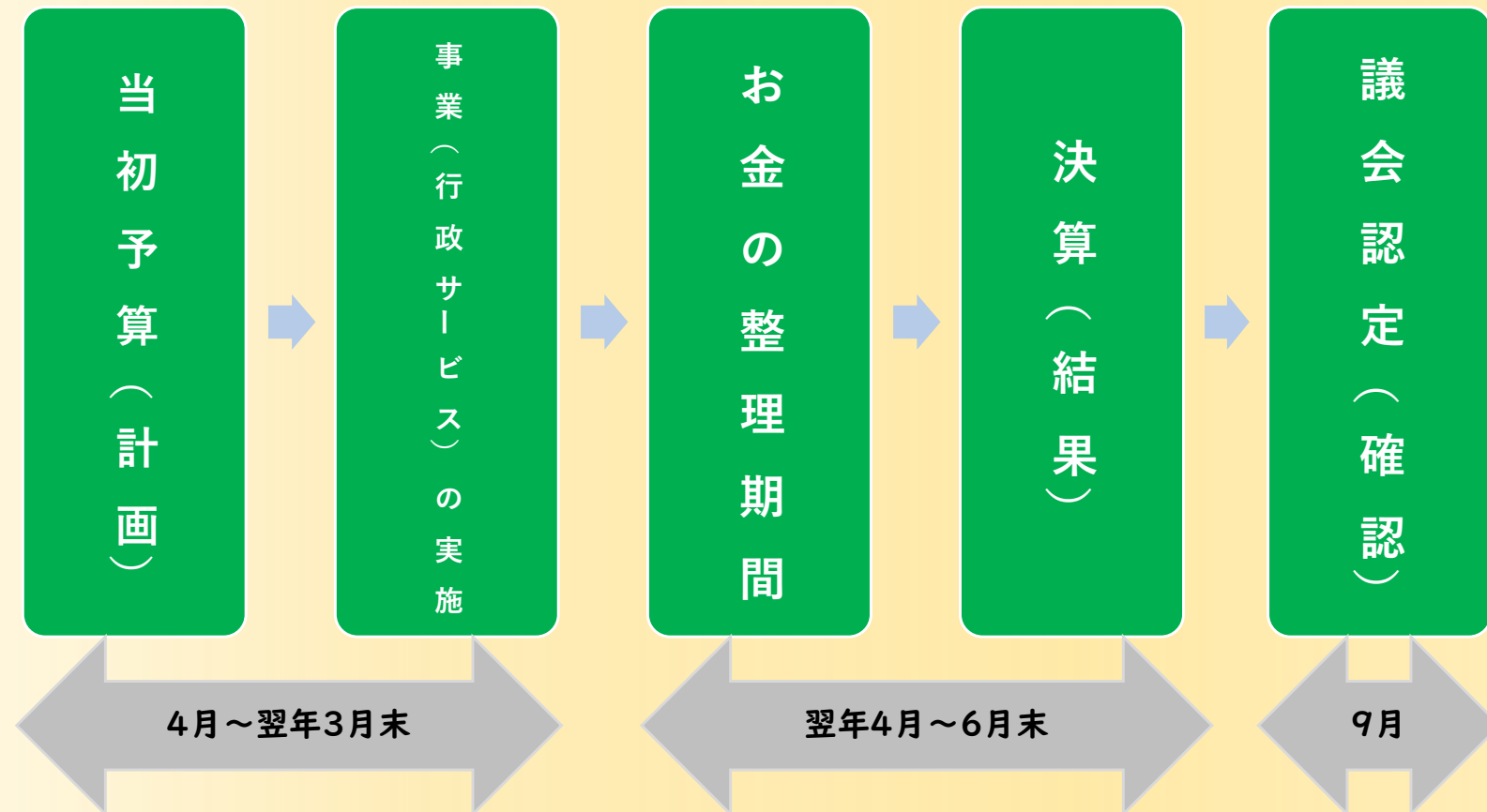
市の歳入には、市民の皆様からの税金も多く含まれています。そのため、皆様から納めていただいた税金が正しく使われているかを、市民の代表である議会にチェックしてもらうために決算報告をする必要があります。

I. 決算の基礎知識

Q 決算はどうやって決まるの？

A 新しい年度が始まると、決められた予算に基づき各課が予定している事業（行政サービス）を行います（4/1～翌年3/31）。

年度終了後、実際にどれくらいの金額が使われたかをまとめ、決算書を作成し議会へ提出し、認定をもらうことで決算が決まります。

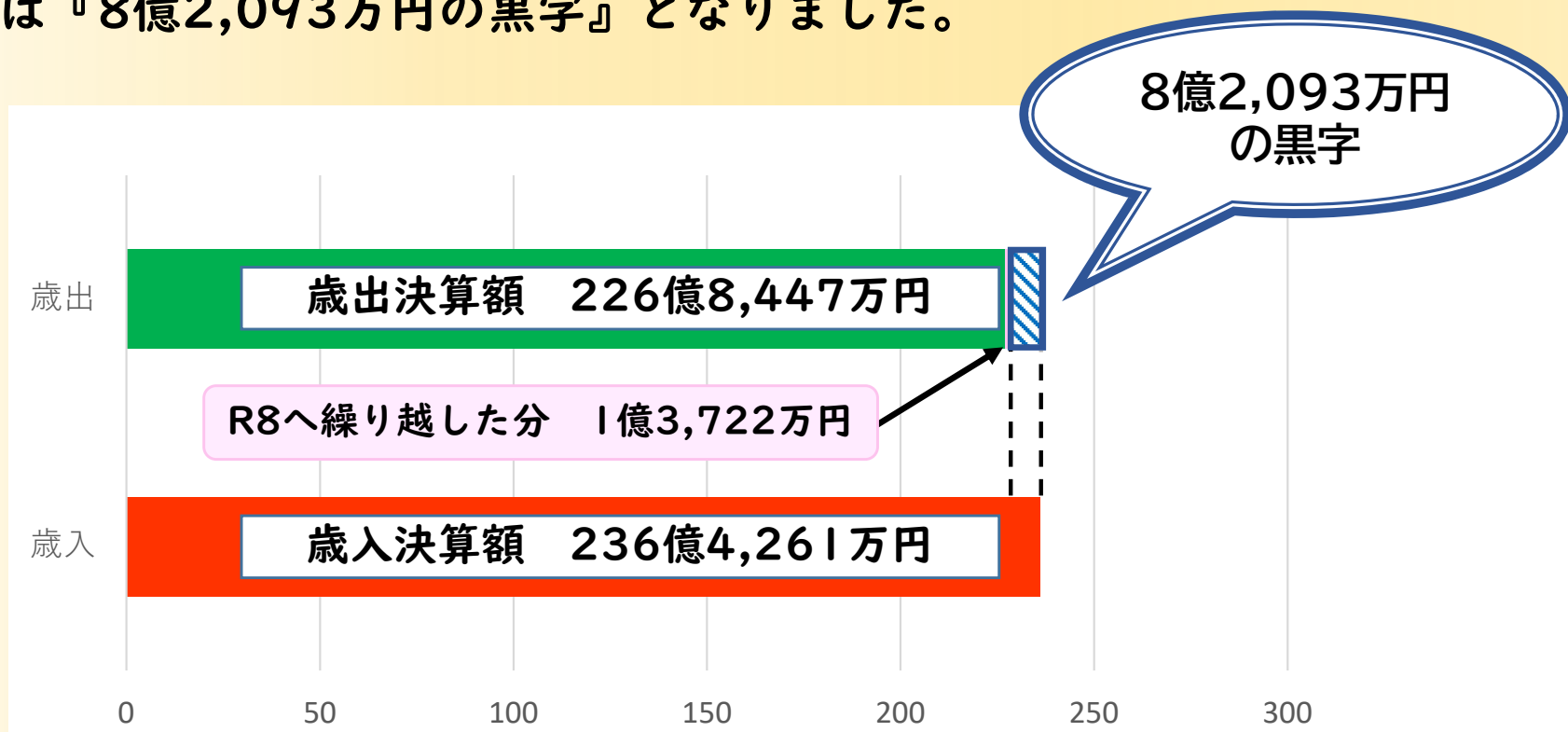


2. 令和7年度決算について

Q 令和7年度の決算は黒字？赤字？

A 令和7年度の決算額は、歳入が236億4,261万円、歳出が226億8,447万円となりました。また、歳入から歳出を引いた9億5,815万円のうち1億3,722万円は令和7年度中に完了できなかった事業のためのお金として、令和8年度に繰り越して使います。

歳入から、歳出と令和8年度に繰り越した分を引いた結果、令和7年度は『8億2,093万円の黒字』となりました。



2. 令和7年度決算について

Q どのような歳入があったの？

A 令和7年度は大きく分けて次のような歳入がありました。

項 目	説 明	令和7年度決算額	前年度比 (増減額)
自主財源	市が自主的に調達できる収入のことです。	99億2,054万円	▲4億3,979万円
市税	皆さまから納めていただいた税金です。	42億1,949万円	+1億1,689万円
寄附金	ふるさと納税などにより、伊豆市に寄附していただいたお金です。	14億2,066万円	+4,038万円
繰入金	市の貯金（基金）を取り崩して使うお金です。	12億8,033万円	▲8億2,207万円
その他	施設の使用料や財産収入、前年度からの繰越金などです。	30億 6万円	+2億2,501万円
依存財源	国や県からの補助金や市債（借金）のことです。	137億2,207万円	▲33億8,954万円
国・県支出金	特定の事業に使うために、国や県から交付されるお金です。	38億8,794万円	▲8億 296万円
地方交付税	一定の行政サービスを確保するために、国から県や市町村に交付されるお金です。	66億9,009万円	+3億7,131万円
市債	事業を実施するために、国や金融機関から借り入れるお金です。	17億6,250万円	▲29億 418万円
その他交付金等	国や県が集めた税金を各自治体へ分配する譲与税や地方消費税交付金などです。	13億8,154万円	▲5,371万円
合 計		236億4,261万円	▲38億2,933万円

ポイント！



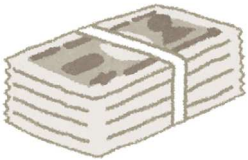
伊豆市は自主財源に比べて依存財源が多くなっています。自主財源が多いほど自由に使える財源が多くなるため、ふるさと納税のさらなる増加や移住定住の促進に取り組んでいます。

2. 令和7年度決算について

Q どのように使われたの？

A 令和7年度の予算は、次のとおり使われました。

目的別

議会の運営に 0.5%  議会費 1億2,749万円	市役所の運営などに 15.9%  総務費 36億1,511万円	児童・高齢者福祉などに 23.9%  民生費 54億2,357万円	医療やごみ処理などに 8.1%  衛生費 18億3,970万円
雇用拡大の施策などに 0.1%  労働費 1,515万円	農林業の振興などに 2.0%  農林水産業費 4億5,972万円	産業や観光の振興などに 3.3%  商工費 7億4,065万円	道路や公園などの整備に 10.0%  土木費 22億6,103万円
消防活動や防災などに 7.7%  消防費 17億4,393万円	学校教育などに 8.0%  教育費 18億2,263万円	借金の返済に 10.0%  公債費 22億6,492万円	貯金の積立てなどに 10.5%  23億7,057万円

2. 令和7年度決算について

性質別

項 目	説 明	令和7年度決算額	前年度比 (増減額)
義務的経費	毎年必ず支出しなければならない経費です。	81億2,014万円	+4億2,271万円
人件費	職員の給料や議員の報酬などに使う経費です。	30億7,093万円	+1億 130万円
扶助費	福祉や医療などに使う経費です。	27億8,429万円	▲364万円
公債費	市の借金を返済するための経費です。	22億6,492万円	+3億2,505万円
投資的経費	道路、建物等の公共施設の整備や災害復旧に係る経費です。	31億3,387万円	▲48億1,541万円
その他経費	物件費や補助費等のその他の経費です。	114億3,046万円	+12億 280万円
物件費	光熱水費や消耗品費、委託料などの経費です。	39億8,531万円	+3億6,112万円
維持補修費	施設の維持管理に使う経費です。	5,729万円	▲1,634万円
補助費等	ほかの団体への補助金や負担金などの経費です。	37億8,641万円	+1億 319万円
積立金	各種基金（市の貯金）への積立てにかかる経費です。	22億2,006万円	+7億5,243万円
繰出金	特別会計の収入を補うための経費です。	13億8,139万円	+240万円
合 計		226億8,447万円	▲31億8,990万円

ポイント！



伊豆中学校や危機管理センターなど大型施設の整備が完了したことにより、投資的経費が大きく減少した一方、令和3年度に借り入れた借金の元金の返済開始により公債費が増加しています。

3. 伊豆市の財政状況について

伊豆市の財政は大丈夫なの？



たくさんお金を使っているみたいだけど、
伊豆市の財政は大丈夫なの？
どうすれば分かるの？

市の財政状況は、4つの財政指標からみることが
できます。

それぞれの指標には基準があり、その基準と市
の数値を比べることで、その市の財政が健全であ
るかどうかを判断します。



～4つの財政指標の説明～

「実質赤字比率」

毎年安定して得ることのできる収入に対して、普通会計
(一般会計と土地取得のための会計)でどれだけ赤字が
あるかの割合です。

「連結実質赤字比率」

毎年安定して得ることのできる収入に対して、すべての
会計でどれだけ赤字があるかの割合です。

「実質公債費比率」

毎年安定して得ることのできる収入に対して、どれくら
い借金を返済しているかの割合です。

「将来負担比率」

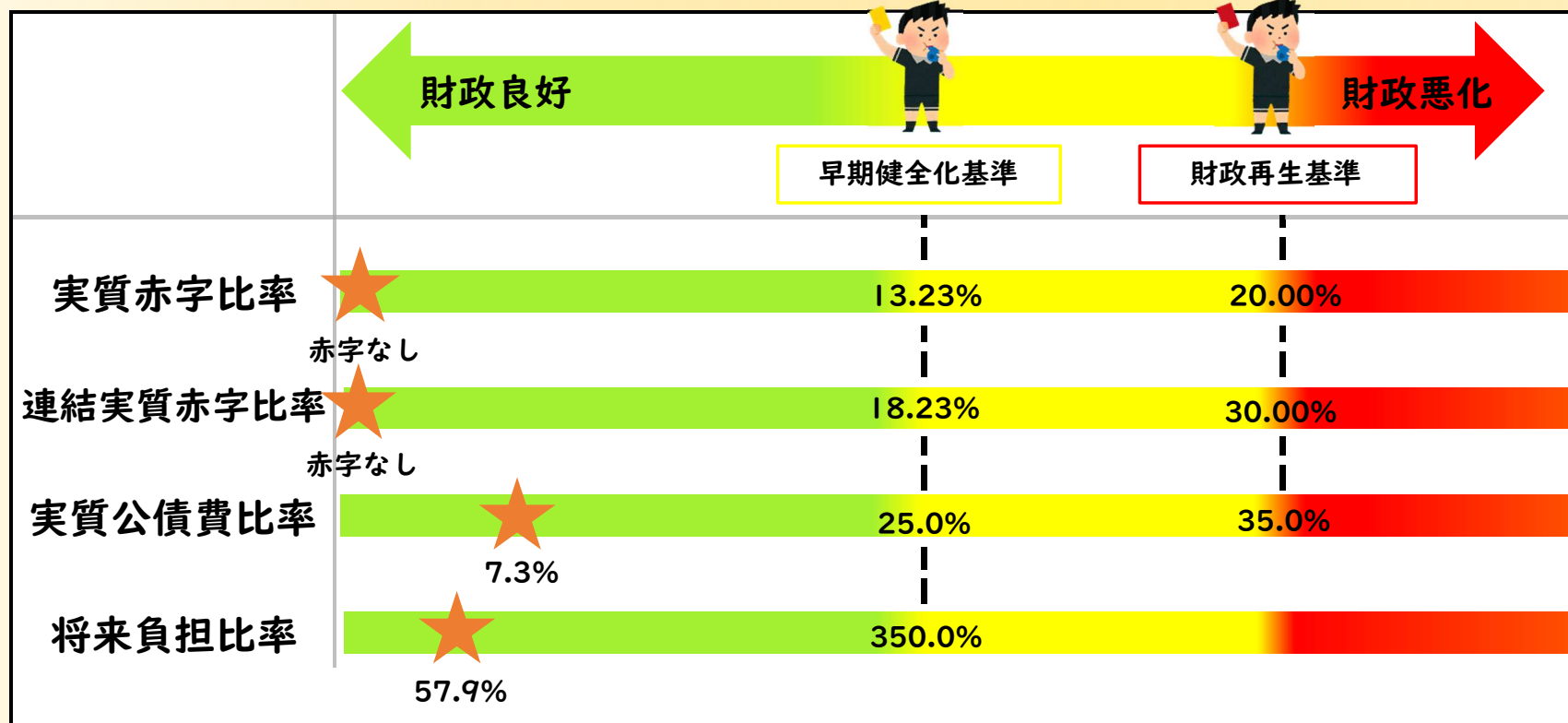
毎年安定して得ることのできる収入に対して、将来負担
する債務(借金など)がどれくらいあるかの割合です。

3. 伊豆市の財政状況について



じゃあ、伊豆市の財政指標はどうなってるの？

財政指標について図にまとめました。伊豆市は、4つすべての指標で基準を大きく下回っており、健全な状態であると言えます。



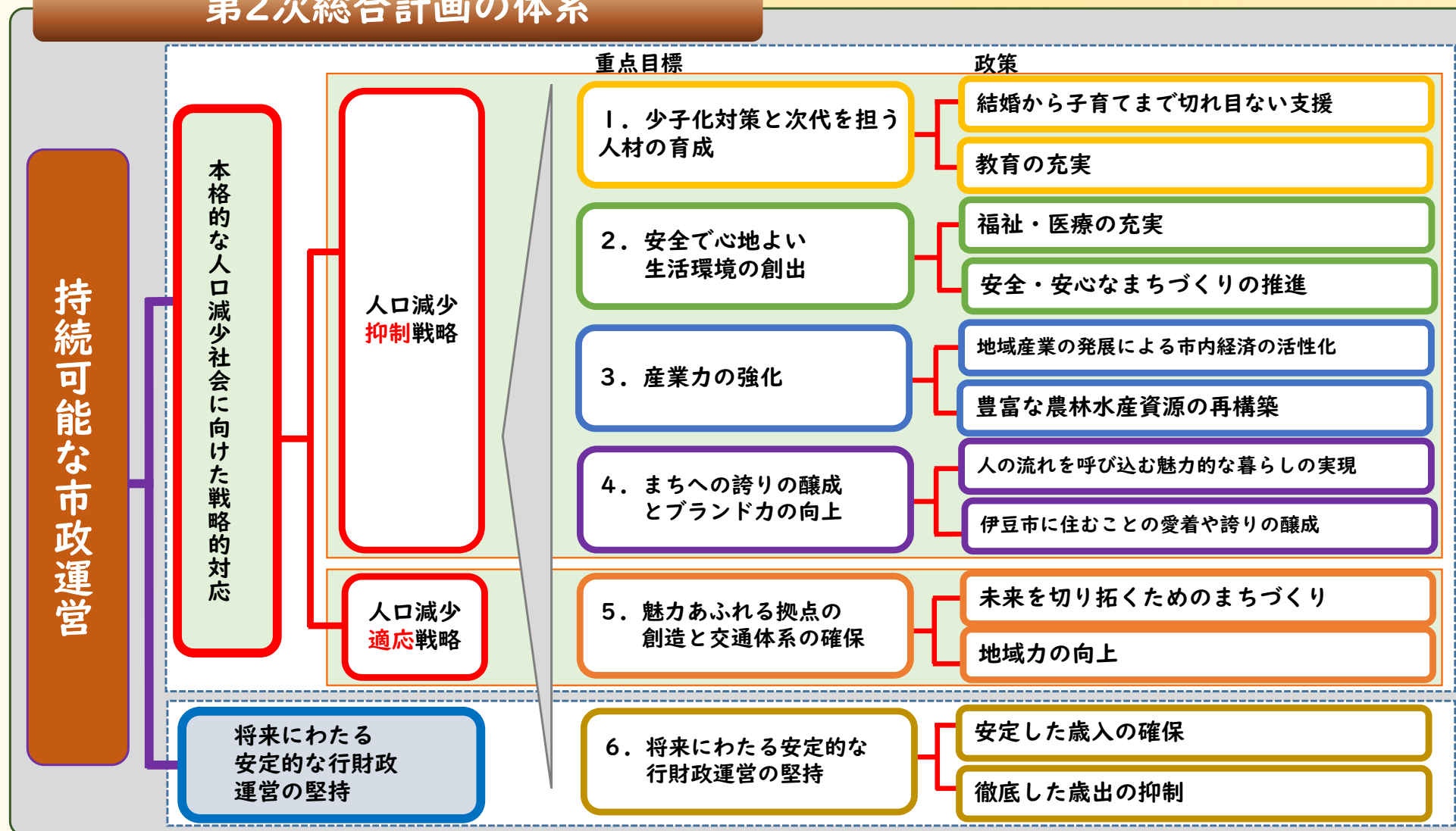
基準よりもこんなに低くなっているんだ！
これなら伊豆市の財政は大丈夫だね！



4. 主要事業の決算状況

令和7年度は、人口や出生数が減少している伊豆市の現状を踏まえ、今住んでいる若者世代がいつまでもここに住み、暮らしてもらうための支援をしていくとともに、命を守る取組みを進め、次の10年に向けた持続可能なまちを目指す事業を行いました。その中で、いくつかの主要事業について決算状況を報告します。

第2次総合計画の体系



4.主要事業の決算状況

重点目標Ⅰ

少子化対策と次代を担う人材の育成

子育て施設環境整備事業

決算額 3,655万円

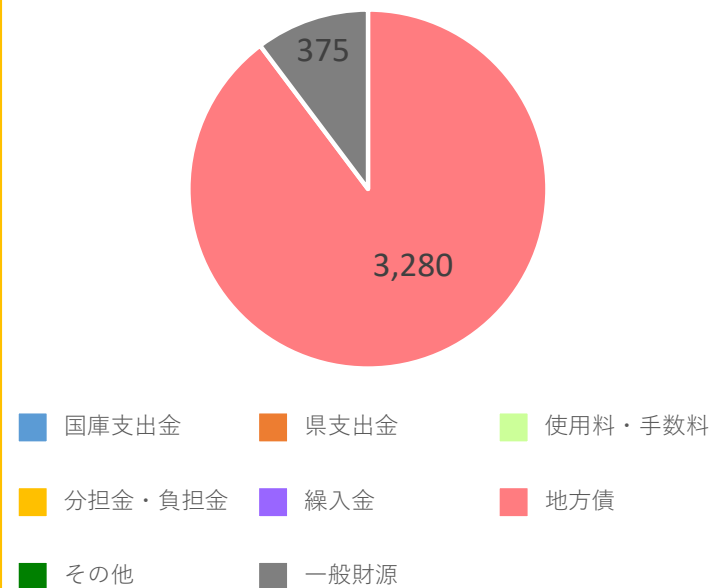
こども・子育て支援事業債を活用し、土肥こども園の遊具更新やこども園への防犯カメラの設置などを行いました。



▲土肥こども園に設置した新しい遊具

財源内訳

(単位：万円)



担当課

子育て支援課

4.主要事業の決算状況

重点目標Ⅰ

少子化対策と次代を担う人材の育成

中伊豆小学校移転整備事業

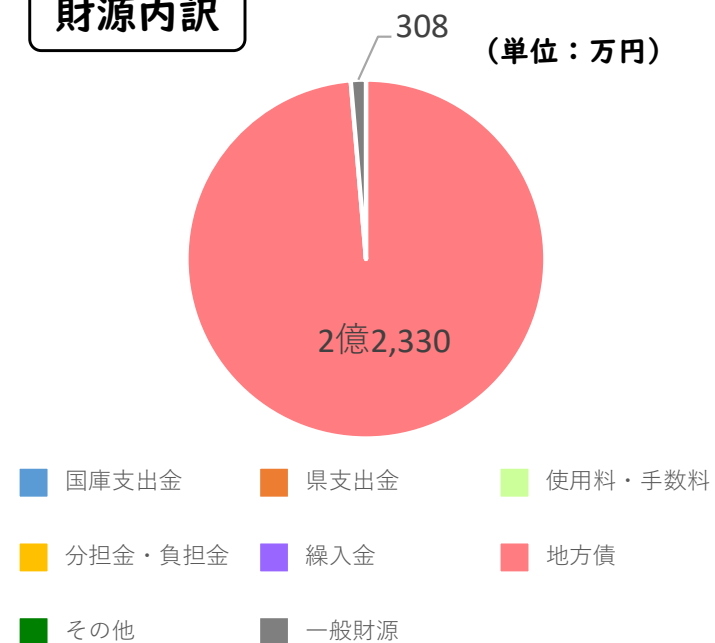
決算額 2億2,638万円

伊豆中学校完成に伴い廃校となった旧中伊豆中学校の跡地活用として中伊豆小学校の移転・建替を実施するため、旧中伊豆中学校の解体及び新小学校の建設に向けた実施設計を行いました。



▲新小学校の完成イメージ

財源内訳



担当課

学校教育課

4.主要事業の決算状況

重点目標2

安全で心地よい生活環境の創出

ひなた公園整備事業

決算額 5億7,334万円

日向地区に整備する防災機能を兼ね備えた公園の整備工事や管理棟・トイレ棟及び遊具の整備工事を行いました。

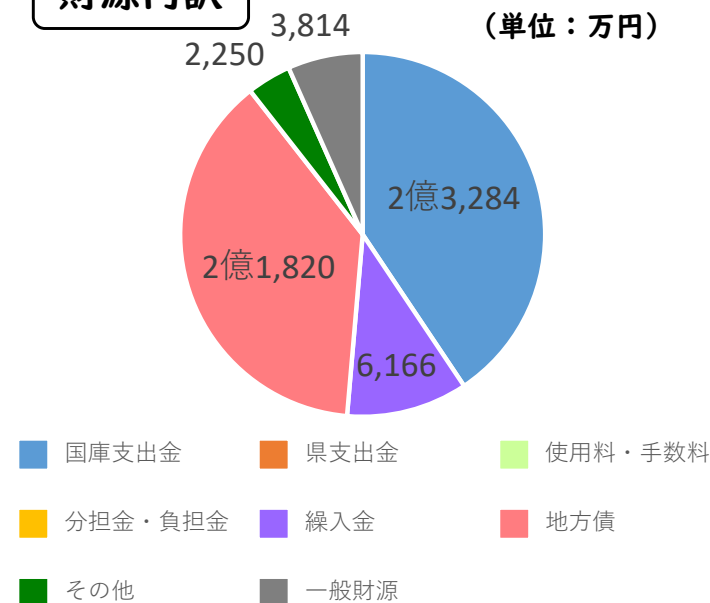
公園は令和8年4月にオープンし、各種イベント等も行っています。



▲完成したひなた公園

財源内訳

(単位：万円)



担当課

都市計画課

4.主要事業の決算状況

重点目標2

安全で心地よい生活環境の創出

危険管理センター整備事業

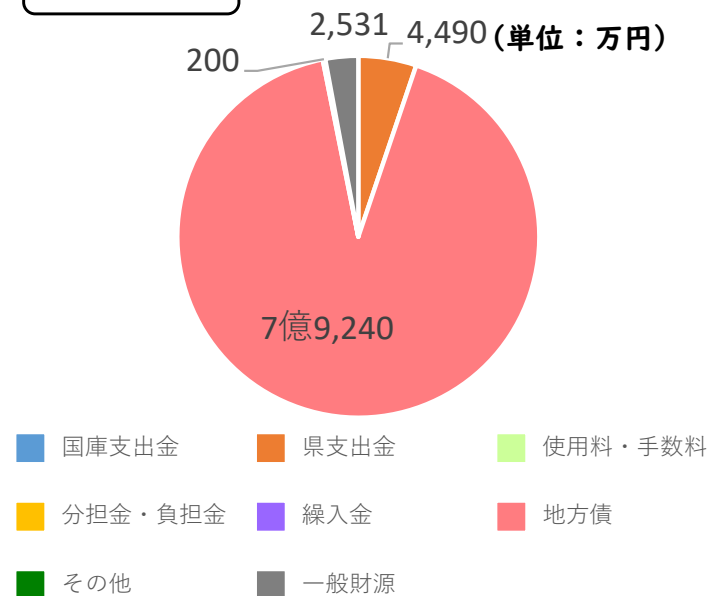
決算額 8億6,461万円

ひなた公園内に整備する、災害対策の拠点となる危機管理センターの建設工事を行い、令和7年度末に完成しました。



▲完成した危機管理センター

財源内訳



担当課

危機管理課

4.主要事業の決算状況

重点目標2

安全で心地よい生活環境の創出

災害廃棄物仮置場対応訓練事業

決算額 129万円

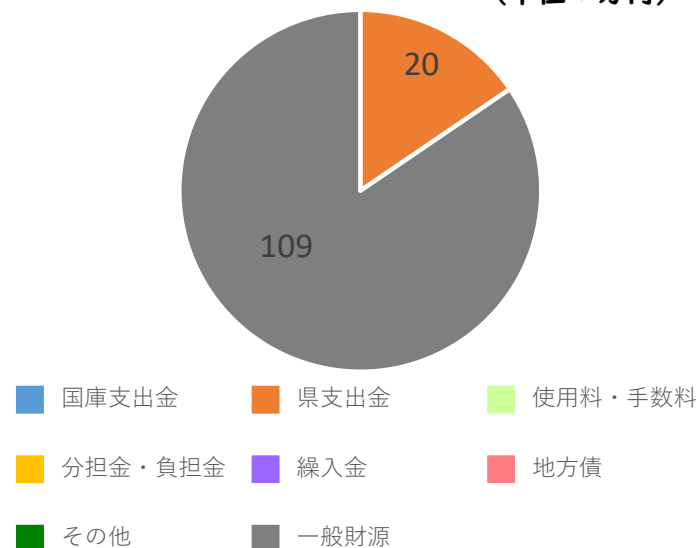
各家庭から搬出される災害廃棄物に対応するための仮置場の設置など、大規模災害を想定した災害廃棄物の受入訓練を実施しました。



▲対応訓練の様子

財源内訳

(単位：万円)



担当課

環境衛生課

4.主要事業の決算状況

重点目標3

産業力の強化

ふるさと観光地魅力化事業

決算額 3,110万円

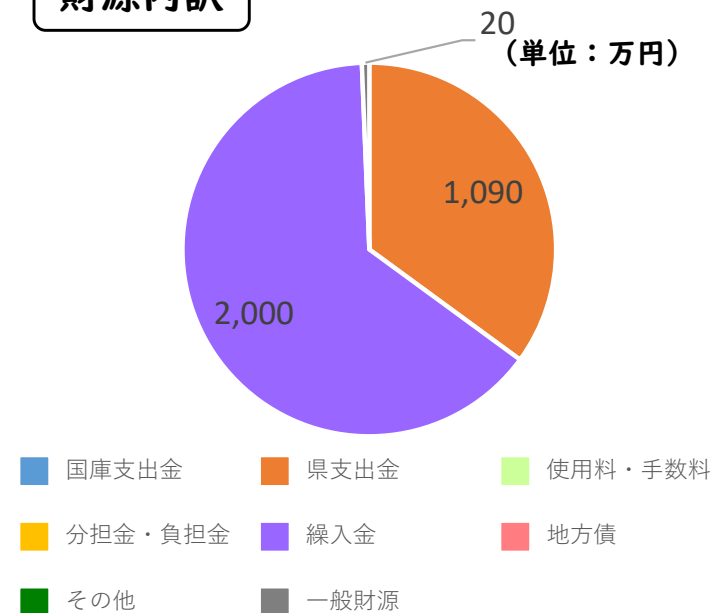
伊豆市の観光地としての魅力向上・ブランド化に向け、ふるさと納税を活用した地域一体となった観光施設整備を行いました。

令和7年度は天城湯ヶ島地区の湯道整備に向けた設計と、修善寺地区の源氏公園改修工事を行いました。



▲改修した源氏公園

財源内訳



担当課

観光商工課

4.主要事業の決算状況

重点目標3

産業力の強化

地域おこし協力隊推進事業

決算額 7,964万円

地域の活性化や産業振興を図るため、地域外の人材を積極的に誘致、「地域おこし協力隊」として任命し、隊員の活動に必要な経費の支援などを行いました。

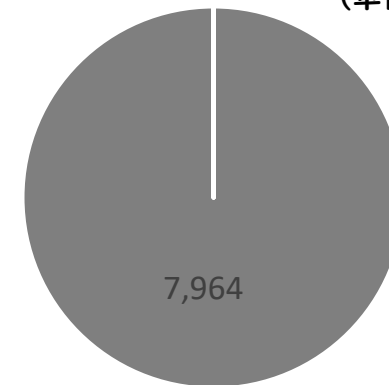
また、新たな隊員の募集を行い、令和8年4月1日現在、11人の隊員が活動しています。



▲地域おこし協力隊委嘱状交付式の様子

財源内訳

(単位：万円)



担当課

地域づくり課・農林水産課
観光商工課

4. 主要事業の決算状況

重点目標 4

まちへの誇りの醸成とブランド力の強化

移住定住促進事業

決算額 7,322万円

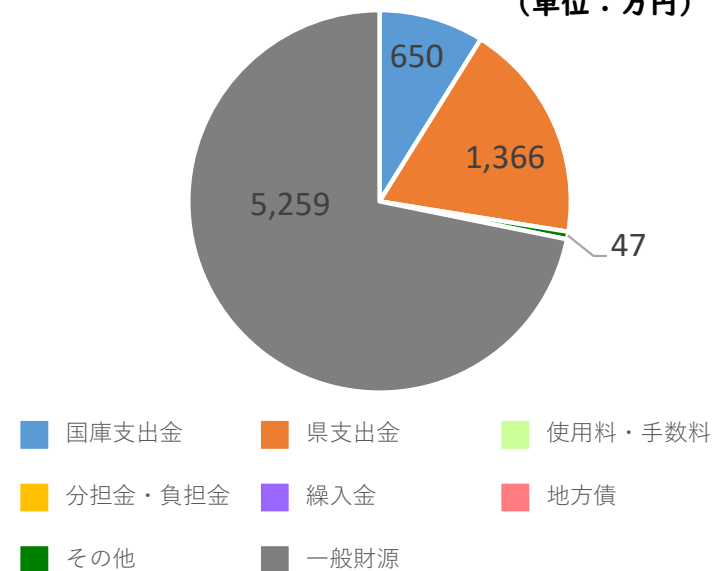
人口減少の抑制を図るため、移住定住促進補助金等、各種補助金の支給やお試し住宅の運営を行いました。

また、移住定住促進事業補助金について、子育て世帯の移住定住を促進するため、増築・リフォームを対象とするメニューを拡充しました。



財源内訳

(単位：万円)



担当課

地域づくり課

4.主要事業の決算状況

重点目標4

まちへの誇りの醸成とブランド力の強化

ビレッジプライド研修事業

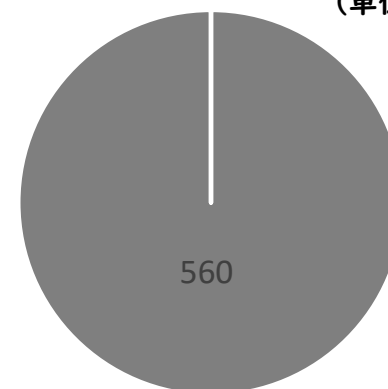
決算額 560万円

自分の働く場所・生活する地域に誇りを持つ人材の育成を図るため、総務省地域力創造アドバイザー制度を活用し、スーパー公務員によるビレッジプライド研修を行いました。



財源内訳

(単位：万円)



国庫支出金	県支出金	使用料・手数料
分担金・負担金	繰入金	地方債
その他	一般財源	

担当課

総務課

4.主要事業の決算状況

重点目標5

魅力あふれる拠点の創造と交通体系の確保

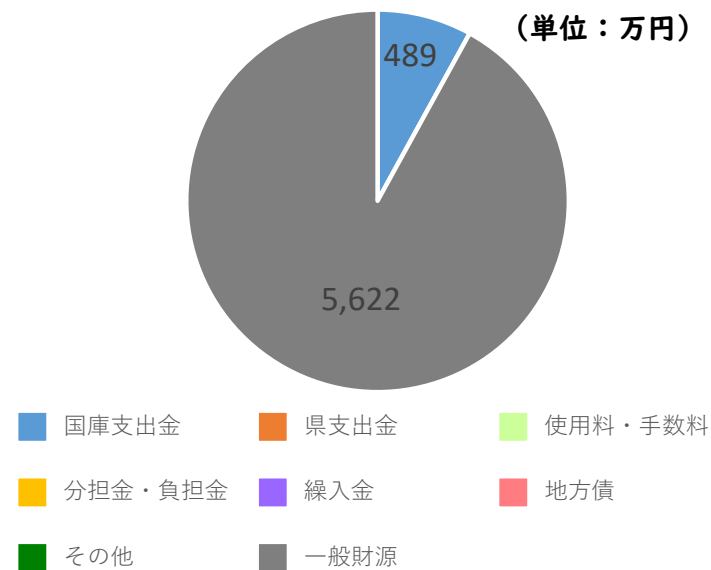
中学生バス乗り放題事業

決算額 6,111万円

中学校生徒の保護者の負担軽減と路線バスの利用促進、社会参加の促進などを図るため、伊豆中学校・土肥小中一貫校（後期課程）に通う生徒に対し、フリーパスを配布しました。



財源内訳



担当課

学校教育課

4.主要事業の決算状況

重点目標5

魅力あふれる拠点の創造と交通体系の確保

修善寺駅周辺・修善寺温泉地区まちづくり検討事業

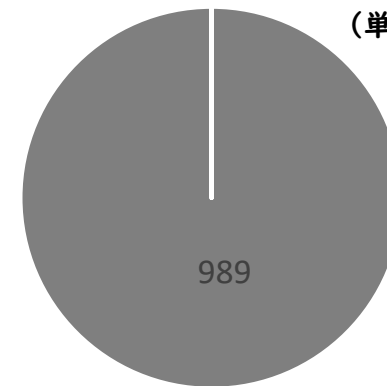
決算額 989万円

賑わいや魅力ある拠点づくりのため、修善寺駅前地区まちづくり基本計画の作成や、修善寺温泉場地区におけるまちづくりの検討業務を行いました。



財源内訳

(単位：万円)



国庫支出金	県支出金	使用料・手数料
分担金・負担金	繰入金	地方債
その他	一般財源	

担当課

都市計画課

4.主要事業の決算状況

重点目標 6

将来にわたる安定的な行財政運営の堅持

旧八岳小学校解体改修事業

決算額 1億3,514万円

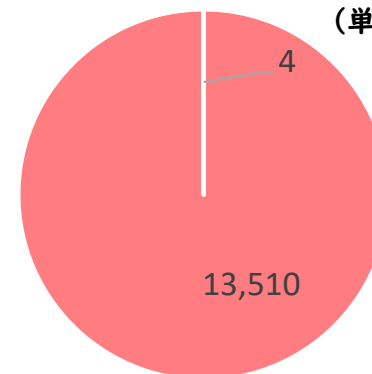
廃校となった旧八岳小学校校舎の減築及び体育館・プールの解体を行うとともに、校舎の一部を地域の活動拠点及び災害時の避難所として活用するため、改修を行いました。



▲改修した旧八岳小学校校舎

財源内訳

(単位：万円)



担当課

資産経営課

4.主要事業の決算状況

重点目標 6

将来にわたる安定的な行財政運営の堅持

収納対策強化事業

決算額 805万円

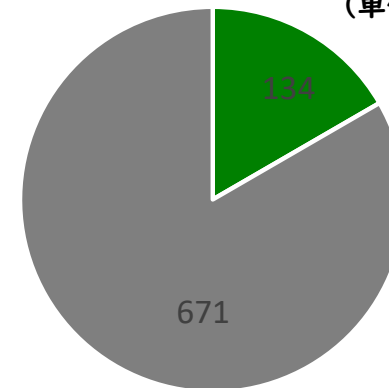
収納率の向上に向け、二次元バーコードによるキャッシュレス決済・コンビニ納付の促進等により納税に係る利便性の向上を図りました。

また、電話催告による早期納税の促進や、外部研修による滞納整理対策チームのスキルアップを行いました。



財源内訳

(単位：万円)



国庫支出金	県支出金	使用料・手数料
分担金・負担金	繰入金	地方債
その他	一般財源	

担当課

税務課

令和 7 年度伊豆市のわかりやすい決算書

- 発行年月日 令和 8 年 1 0 月
- お問い合わせ先 伊豆市総合政策部企画財政課財政スタッフ
静岡県伊豆市小立野 3 8 番地の 2
電 話 (0 5 5 8) 7 2 - 9 8 5 9
F A X (0 5 5 8) 7 4 - 3 0 6 7